

事務事業名		健康教育事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	17 生涯にわたる健康づくりの推進			
	基本事業名	01 保健・予防活動の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 S57 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		健康増進法		予算科目 会計 01 款 04 項 01 目 01 事業 13	
所属	部課名	生活福祉部保健介護センター		総投入量 (千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) トータルコスト(A)+(B)	
	係名	成人保健係	電話 0192-27-3111 内線 437		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ①事業内容 生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、医師、歯科医師、薬剤師、健康運動指導士等の派遣講師と保健師、栄養士などが健康教育を実施し、疾病の予防知識の普及と健康づくりを推進する。 ②主な事務内容 ア. 講師依頼(委託の場合は委託契約締結) イ. 対象者への通知 ウ. 会場設定 エ. アンケート調査・集計 オ. 謝金支払(委託の場合は委託料支払) カ. 評価 ③事業費 講師への謝金、交通費、教育教材等購入費、専門機関への委託料などに支出される。					

(1) 事務事業の目的と指標																									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 通常の健康教室に加えて、東日本大震災復興計画に基づき、健康サポート事業を継続して実施。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 被災者支援活動を優先し、月1回、総合福祉センターで実施していた健康教室は実施しない。地域公民館での活動は通常通りとする。 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 大船渡市民(健康増進法では40歳～64歳が対象とされている。) ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自身及び家族の生活習慣を見直す機会とし、必要な生活改善をできるだけ長期間実施できるようにする。 ④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 生活習慣を見直し、自身及び家族に必要な生活改善を行うことができ、さらに習慣化することができる。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 40歳以上64歳以下の参加者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 意識的に運動している者の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 食事に気を付けている者の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス たばこを吸わない者の割合</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 開催回数	回	イ 参加者数	人	ウ		名称	単位	カ 40歳以上64歳以下の参加者	人	キ		ク		名称	単位	サ 意識的に運動している者の割合	%	シ 食事に気を付けている者の割合	%	ス たばこを吸わない者の割合	%
	名称	単位																							
	ア 開催回数	回																							
	イ 参加者数	人																							
ウ																									
名称	単位																								
カ 40歳以上64歳以下の参加者	人																								
キ																									
ク																									
名称	単位																								
サ 意識的に運動している者の割合	%																								
シ 食事に気を付けている者の割合	%																								
ス たばこを吸わない者の割合	%																								

(2) 総事業費・指標等の推移									
投入量	事業内訳	単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
	国庫支出金	千円		0					
事業内訳	都道府県支出金	千円		181	424	504	504	504	504
	地方債	千円							
事業内訳	その他	千円							
	一般財源	千円		91	213	253	253	253	253
事業内訳	事業費計(A)	千円		272	637	757	757	757	757
	正規職員従事人数	人		9	10	9	9	9	9
人件費	延べ業務時間	時間		460	1,580	800	800	800	800
	人件費計(B)	千円		1,840	6,320	3,200	3,200	3,200	3,200
トータルコスト(A)+(B)		千円		2,112	6,957	3,957	3,957	3,957	3,957
⑤活動指標	ア	回		23	155	170	170	170	170
	イ	人		129	1,394	2,100	2,100	2,100	2,100
	ウ								
⑥対象指標	カ	人		69	586	1,470	1,470	1,470	1,470
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	%		26.6	27.7	50.0	50.0	50.0	50.0
	シ	%		47.0	50.5	50.0	50.0	50.0	50.0
	ス	%		61.7	63.2	70.0	70.0	70.0	70.0

事務事業ID	0279	事務事業名	健康教育事業
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	老人保健法に基づいて行ってきたが、平成20年度からは健康増進法に基づいて行われている。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成18年度から、65歳以上の者については、介護保険法に基づく介護保険給付や介護予防事業により、介護予防に資する事業が実施されることから、健康教育は40歳から64歳までの者を対象とするとされた。しかし、40～64歳までを対象にした場合、参加者が非常に少ないことから、今年度から主な対象を74歳まで拡大し実施。ただし、地域公民館で行う健康教室に関しては参加者のほとんどが高齢者であることから、年齢制限を設けず実施している。また、普段、保健師と接する機会少ない児童及びその保護者を対象とした家族ふれあい教室を今年度初めて実施した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	回数を増やして実施してほしいと要望あり。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市民が安心して幸せに暮らすには、健康であることが最も重要なことである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市民の健康づくりの推進のため、当市で実施すべきものと考えられる。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 生活習慣病予防は健康増進及び医療費削減の観点から非常に重要なものであり、現在の対象及び意図は妥当と考える。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 40～50歳代という若い世代にもっとアプローチできれば、さらに生活習慣病予防につながると思われる。しかし、土日や夜に実施してもその年代の参加者が少ないことから、がん検診等での待ち時間を利用して、生活習慣病予防のミニ講話等を実施するなど、アプローチの方法を考えていく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 平成22年度に実施した大船渡市民の実態調査に基づいた検診受診率向上に関する研究によると、市民の認識の中で検診を受診することの優先度が低いという課題が明らかになった。このことから、本事業を廃止・休止することにより、さらに市民の健康に対する意識が低くなる恐れがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 地域包括支援センターで実施しているはつらつ教室(65歳以上対象)や栄養部門の事業と連携して実施していく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最低限で事業を展開している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 外部講師を依頼したり、臨時職員や非常勤職員を活用したりしており、正職員は必要最小限の業務時間である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 運動教室に関しては年齢等の制限はあるものの、広報掲載、チラシ配布、健康づくり推進員等への年間予定表の配布など実施し、広く公募している。また、がん検診等開始前の待ち時間を利用して、がんや禁煙等の健康教育を実施している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>はつらつ教室(地域包括支援センター主催)や高齢者セミナー(中央公民館主催)と日程が重複し、参加者に迷惑をかけたため、類似事業との連携を図り、内容や日程が重複しないようにしていく。また、40~50歳代及び男性へのアプローチ方法を考える必要がある。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>地域包括支援センター及び中央公民館と協議のうえ、連携して事業を実施できるようにする。また、40~50歳代へのアプローチはがん検診等でのミニ講話及び事業等との連携を図る。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>事業所との連携については産業保健の分野であり、産業保健師あるいは委託保健師が健康教育を行っている可能性が高いことから、事業所に確認しながら進めていく必要がある。また、社員の負担にならないよう、実施日や時間帯に留意する。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	保健介護センター所長	
-------	------------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>市民の健康保持・推進のため重要な事業であり、実施方法を工夫する必要がある。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>実施方法の検討し、受講者の拡大を図る必要がある。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持																					
	低下																					

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
